



PRESS RELEASE

大学記者クラブ加盟各社 御中

平成21年11月27日
岡山大学

収着型調湿システム開発プロジェクトの立上げ

概要：岡山大学は、NEDOプロジェクト「エネルギー有効利用基盤技術先導研究開発／高機能高分子収着剤による高度調湿・調温サイクルの基盤技術研究開発H13～H15」にて開発された高分子収着剤を用いた「収着型調湿システム開発プロジェクト」を岡山大学発ベンチャー企業「(株)岡山エコエネルギー技術研究所」と共同で開始しました。

このプロジェクトは、従来のデシカント空調ユニットで使用されるロータ型デシカントモジュールをコンパクトなブロック型とするほか、夜間電力による水蓄熱装置の冷凍機排熱を活用して収着剤を再生乾燥させ、昼間には蓄えられた冷水と乾燥状態にある収着剤を使用した顕熱・潜熱分離空調システムを運用することで、未利用エネルギーの活用による省エネと大幅な装置コスト・運転コストの低減による低炭素社会の実現を目指すものです。

岡山大学は高分子収着剤という地域シーズ技術を核に、システム構成機器の供給を担う空調機器メーカー、開発機器を設計・エンジニアリングで活用する設備会社・建設会社のほか、広域ユーティリティサービスを担う有力電力会社など、各分野の有力企業に参画いただき、ビルや工場向けの収着型調湿システムの実用化と普及を目指します。

プロジェクトの具体的内容は、1) 高分子収着剤を用いたデシカントモジュールの開発、2) モジュールと夜間電力活用による蓄冷熱装置を組み合わせたハイブリッドデシカントシステムの検証、3) システムコスト削減のためのバッチ切り替え方式の検証、4) 特徴ある収着型調湿システムの開発と実践などです（項目4は研究委託元企業ごとの独自テーマ）。

以下にプロジェクトの実施期間、構成メンバーを示します。

研究期間：平成21年10月1日～平成22年5月25日

研究実施機関：岡山大学、(株)岡山エコエネルギー技術研究所

研究委託機関：関西電力(株)、(株)クボタ、三機工業(株)、昭和鉄工(株)、(株)ジャパンエナジー、新晃工業(株)、新日本空調(株)、(株)大気社、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、東京電力(株)、東芝キャリア(株)、東洋熱工業(株)、

日本エクスラン工業(株)、日本ビー・エー・シー(株)、

日本ピーマック(株)、日立アプライアンス(株)、

三菱電機(株)

＜お問い合わせ＞

岡山大学研究推進産学官連携機構

副機構長 渡邊 裕

(電話番号) 086-251-8472

(E-mail) wyutaka@cc.okayama-u.ac.jp